

第4回 情報推進常任委員会会議録

令和元年8月5日(月)

委員会 議室

○会議日程

- 1 開会宣告(11時08分)
- 2 協議事項
 - (1) 議員の出欠簿について
 - (2) 今年度行う住民との懇談会について
- 3 閉会宣告(12時04分)

○出席委員(8名)

委員長	2番	植村	敦
副委員長	5番	岡本	則夫
委員	1番	富樫	直敏
委員	2番	斎賀	弘孝
委員	4番	無量谷	隆
委員	6番	吉原	哲男
委員	7番	西澤	裕之
委員	8番	高橋	秀之

○議会事務局出席者

事務局 長	植村	美佐子
主 事	満保	希来

植村委員長

それでは、ただいまから令和元年度第4回の情報推進委員会を開催いたします。

今日の議題については、先般の別委員会の席で委員から出た話題を一つ取り上げているのと併せて、今年、住民との懇談会をどのような形で、いつの時期にやったらいいかということ今から予定を立てて行動していかないと、わたわたとだんだん遅れていってしまいますんで、協議したいと思います。

まず、議員の出席簿についてということで、協議事項に入っていきたいと思います。

先般の会議の中で、岡本副委員長から稚内市議会の話が引き合いに出されまして、市議会の議会だよりが非常に好評を得てるという話がされました。

それで今回、稚内市議会の広報誌を一部載せております。このような形で、議員の1年間の動きですとか、各議案に対する委員の動き等をわかるような形で記載されているということでございます。

岡本委員のほうから、これらに関して改めて何かご意見ありましたら。

岡本副委員長

私は今回の選挙の公約っていうのは、議会議員には無いから、立ち会い演説会でも話をさせてもらったように、議会を活性化させていくためには何が必要かっていったら、少なからず議員が発言をしないことには議会の活性化には繋がらない。それが私の信念でもあるわけですよ。

そういう意味で、中だいぶ休んでるから、時代は変わってきたのかもわからないけども、この稚内の議会報っていうのは、こんなに素晴らしく毎月やらなくなったって、こんなものまで出す必要ないと思う。うちの町としては。まず手始めに、1年間なら1年間ですね、議員の一般質問の回数っていう形の中で、全員がこういうふうな一般質問でもって、町の活性化に汗かくようにやったんだっていうものを、町民に見せる必要があると思うんですよ。アピールするっていうか。そういう中身でもって、4年間の出席簿をつけると。うちの議会報最後に発行した委員のコメントが載ってるよね。それで終わりだけでも、その前の欄にですね、ちょうどこれ一つあれば間に合うと思うんですよ。この一覧があればね、8人の議員だから載るんですよ。この枠をつくって、これでもって、定例会ごとの、他の委員会とかそういうもの別にして、定例会でもって一般質問を行った議員、そうじゃない方は無印、した方を○だけつけていけば、この人今回一般質問やってんだねってことが。

そして、議会報が出た時にどういう質問したかっていうことが、また新たに読んでもらえるっていう。昔はそうなんだけど、議会報なんてこんなものいらないう意見が多くあったときもあるんです。誰も読む人いないんでないのかって。こんなものに70万も80万も金かけて、読んでもらってないようなもの無駄だっていう、そういう話がちらほら出て、どうするうんぬんかんぬんもやったんだけど、これは今までこうやってきたんだから、議会報を無くすわけにはいかないと。

そんなことやってるうちに私、選挙に落選して手放しになったので、来てみたら、もう、議会報が無くなったとは言わないけども、町の広報の中の冊子の状態でもって入っていると。これは議会活動じゃないぞっていう私の考え方があったので、ですから、長くなったけども、私は皆さんの了承を得れば4年間、この見開きの1段だけあれば間に合うんですから、4

年間、定例会ごとに出席簿載せると。そうすることによって議員がどれくらい議会の中でもって活躍しているか。その活躍によって町が活性化していくと。私の考えは議会が活性化すると、町が活性化するということなんですよ。

だから町長が何やる、かにやろうというのも、それは執行権があってできるでしょうけども、議会にはそういうものがないので、何をやるかっていったら、自分たちがやったことをいかに町民に報告するかっていうことなんだよね。皆さんもわかってるように、次の議題でも、懇談会っていう話が出てるけども、これも私は少なくとも定例会ごと、前にやるか後ろにやるか、そういう形の中でもって、最低でも年4回は、町民との膝を交えた懇談が必要であると。町政懇談会よりも、議会と町民との懇談をやったほうが、町の活性化には繋がるよっていう、いろんな意見を吸い上げるために。だから私は、そういう形の中で皆さんが了承を得てくれたら、議会報を読む人が私は何人かでも増えていくんじゃないかなという感覚があるので、そういうものを進めていきたいなというのが私の考えです。

植村委員長

わかりました。

今岡本副委員長のほうから、今回のこの件に関しての提案理由をお聞きしました。

これらに関して、皆さんのほうから、何かご意見等々、実行していけるのかいけないかも含めて、懇談をしたいと思えますのでよろしくお願いいたします。

西澤委員

今、岡本副委員長の言った中で、まず一つが一般質問の回数を載せるということと、後半のほうに、その定例会ごとの出席簿っていう話も出たんですけども、一般質問の有無ってというのは、議会報には一般質問をした方は、必ず写真付きで、どんな一般質問したかということ議会報には載せてるので、そこで改めてその一般質問の回数を載せることが必要なのかどうなのかってというのがまず1点と、その定例会ごとの出席簿って意味では、この稚内の取り組み、本議会、各委員会の出欠状況ってというような話になるかと思うので、議会活動の報告というのは、うちの議会報にも載せてることなので、改めて載せるとしたら、本会議と各委員会の出欠状況なのかなというふうには思っています。

それに関しては、役場、この本庁と問寒別の生涯学習センターに議会活動として、各議員の出欠状況等は取りまとめて置いてはいるので、ただ置いていても見る人いないでしょって話になるのであれば、本会議と各委員会の出欠状況というのは別に載せてもいいかなというふうには思っています。

一般質問部分に関しては、先ほど申したとおり、一般質問をした人は、その内容も含めて載るので、その回数を載せる必要ないかなというふうに思っています。

植村委員長

ありがとうございます。ほか何かご意見ありませんか。

吉原委員

西澤君の言ったとおりだと思います。

定例会毎に出席うんぬんって言うけども、私用で定例会を抜けてるってほとんどないと思うんですよ。ですから、年に1回か半年に1回ぐらいで、4回も載せる必要もないんじゃないかな。

前に1年間の出席簿を何かに載せてましたよね。そんなので大体いいんでないかなあ。

植村委員長

議会報じゃないと思います。今、西澤議員が言った、問寒別と幌延に設置している一覧表って前局長が作ったその話でないですか。

植村議会事務局長

去年、30年度から議会のほうでホームページの議会の部分の中で、1年間定例会でどんな議案があって誰が出た、欠席した、委員会でっていう中で、全部載せてるんですよ。だから今年度も、年度末に1年間の活動状況ということで、一覧表載せますので、1年間の活動状況、出欠状況っていうのは、ホームページには載ります。なので、それがホームページだけで、どうなんだったってなったら、年度末に同じようなことを、議会広報に載せるっていうのは可能だと思います。

(吉原委員「それでいいと思います。」)

植村委員長

ほかの方、何かこれに関して考えがありましたらご発言ください。

富樫委員

岡本さんのいうことはもっともかもしれないけども、定例会の後、毎回町民との懇談うんぬんって言うけど、年に1回でもなかなかこう人を集めるのは大変苦勞してる状況です。

そんな中で、年4回やっても果たしてどうなのか。これからは今回の研究センターのあれが出てくるから、いろいろあるのかもしらんけども、年に町民との懇談は1回で十分だと僕は考えますけど。

無量谷議員

西澤君や皆さんが言ったとおりで、今までどおりでいいんでないかなっていう感じはいたします。

そういう中でやっぱり、一般質問にしても報告してますし、ですから俺はいいと思います。

富樫君が言われた懇談会についてもちょっとずれちゃうんですけども、やはり町民を集めるっていうことは、なかなか今までこうやってきてる中では、集まっても同じメンバーかなっていう感じはしてます。ですから、意外と回数やってもあまり意味ないのかなっていう感じはするし、それより、ある程度積極的に町民に対して聞き取りをやってくる議員さんが増えてくれればなっていう感じはしております。

西澤委員

ちなみに、1年間まとめたやつって何ページぐらいになったんですか。ホームページ上に載せてるやつ、何ページぐらいですか。

植村議会事務局長

ホームページ上はですね、案件も全部載ってるので、かなりになるんですよ。

だから、広報誌に載せるとしたら、抜粋っていうか何委員会で何回とかっていう、ぎゅっと縮めたものにならないとすごいページなるんですよ。

西澤委員

岡本副委員長の言ってる意見も、例えば目にしないんだと、議会報っていう部分で楽しみにしてる町民もいるし、高齢者はなんかホームページ上じゃなくて、やっぱり議会報見てるんだっていう話なのかなというふうに思うので、今出してるホームページ上のものを1年間の最後のときに取りまとめて、そういう情報提供としては、議会報として載せるっていうこ

とに対しては私は別に反対をしないので、賛成なので。そこは情報推進委員会で取りまとめて議会報でやるのか、議会報としてこういうのも載せていくんだというふうな方向で決めても、私はいいのかなというふうには思っています。

それで、もう1点。先ほど、富樫委員言われたように、定例議会ごとに懇談会っていうのはなかなか私も厳しいかなというふうに思っていて、時間的余裕があるかないかっていうことではなくて、年1回やってたときの、町民との懇談会、本町と問寒別地区というときもなかなか人が集まらなかったっていうのが1点と、町と同じようなことをやっても、人が集まって来ないんじゃないかなっていうようなところで、私のときはある団体さんっていうか、その団体さんごとに意見を聴取していこうというような感じで、老人クラブ連合会と去年は商工会青年部と農協青年部というふうにやったんですね。この二つの団体からは、毎年やってほしいという、老人クラブ連合会は1年やらなくて、そのとき両青年部とやったんですけど、その年も、実は老人クラブ連合会からは、毎年やってもらえるもんだっていうような感覚でいたんだよねっていう話をされました。両青年部のところからも、これ毎年やって行きたいねっていう話いただいているので、そういう団体を増していくっていう方がいいのかなというふうには思いますね。

今の2団体だけでも、定例会ごとではないですけど、年2回は確実なので、そういうような、ある意味町は町民の皆さんの幅広い意見みたいなことをやっているの、議会としては、各団体さんの意見っていうのも一つの方法かなと思って前回まで取り組んではいました。

斎賀委員

町民との懇談会については、一つの会場に両方集まってきたんで、私の考えとしては、全員で行くんじゃなくて、何人か、2人か3人ぐらいずつ、町内会館とかあると思うので、そういうところのこじんまりとしたところに行った方が皆が集まりやすいのかなと、意見を出しやすいのかなと思ってるんで、そういうことをやったらいいんじゃないかなと思います。

岡本さんの言われた4回というのはちょっと、回数じゃなくて、中身の濃い1回にしたいなと思って、そういうふうに私言いました。やってみないとわからないけども、もしかしたら、岡本さんの言うように4回やったらたくさん集まるのかもしれないけども、今まで年1回でもそういう集まり方だったんで、今度集まり方の工夫をしたらどうかなって思ってたので、お話をさせていただきました。

それ広報に出席簿は、前はね、こういう委員会がありました、こういう会議があったっていうのは、情報載せたんで、私はその程度でいいんじゃないかなと思ってたんですよ。

植村委員長

高橋議長除いて、皆さんそれぞれ、考え方述べていただきました。

大体皆さん、同じような考えでいるのかなというふうに聞いたんですけども、議員の出欠簿というか、そういうことに関しては、年に1度、もう少し縮小した形の中で、議員の動きを議会報の中で載っけてはどうかという、ネットやなんかで、ホームページでは記載されてますけども、なかなか見る方も少ないかもしれないと。高齢者なんかにすると、やはり議会報でそういう情報も目にするほうが見やすいのかもしれないということもありますんで、要約した形の中でのものを、年に1回載っけてはどうかと。載っける範囲、それから中身に関しては、まだまだ、これから委員会で煮詰めていかなきゃならないと思いますけども、とりあえず、そういう方法でやっていったらどうかという意見が強かったのかなというふうに思

いますけども、どうでしょうか。

吉原委員

やっぱり年4回だけではちょっと足りないと思う。やっぱりね、まちづくり委員会だとか、ほかの委員会、これに出席したやつはきちっと載せる。ただ、交通安全週間だから集まってくださいとか何とかってというのはね、割愛させてもらって、やっぱり時事に関する話を話し合う時は、これは全部載せるということでもいいんじゃないですか。

それともう一つはその人の集まりですね。岡本さん、9年か12年離れてるけど、前は結構集まったこともあるんですよ。ところがね、今は4人か5人ですよ。問寒別だとか幌延でやっても。ですからね、これやっぱり、さっき西澤君の言ったように、各団体と話し合いをするというのも一つの方法。これ、老人クラブ集まったとき結構来たよね。20人ぐらい来たし、去年だって10人以上来てた。そういうことでやれば結構人が集まるんだけど、ただ任意に集まってください、今日やりますって言っても、5人か6人。ですからね、やっぱり方法考えるということが一つのポイントになるんじゃないかなと思うんです。

植村委員長

記載してもいいんだけど、議会としての審議を伴う委員会等々の活動状況の出席状況等々を記載すると、それに限るということで意見が出たんですけども、どうでしょうか。ほかのやつは割愛してもいいんじゃないかということなんですけども、どうでしょうか。

岡本副委員長

私今回この議会に出てきた目的っていうのが議会の改革なんだよね。そういうことでまず手始めてわけではないけども、宗谷振興局の利尻で行われた研修会があったと。その結論的にはやっぱり議会の活性化なんだよね、課題となってきたものは。俺はちょうどいいときにこういう話したのかなと思うんだけど。

今日案内もらったやつも同じように、やはり稚内と市も交えた市会議員を交えた形の中のセミナーやるっていうやつも、これもやっぱり議会の活性化なんだわ。議会の活性化という言葉は、字句ではいっぱい出るけども、どうやったら活性化していくのよって、どうやったら活性化するのかと。言葉はいとも簡単に議会活性化のことを書けるんだけど、私は少しでも回数多く、人数来る来ない関係なしに、そういうものを我々が見せることによって、町民の人方が関心を持ってくるんじゃないかと。自分たちも、要するに町の活性化に対して、力を出してるんだというふうになってくんじゃないかと思う。

年に何回するっていうのは、これからの問題になるだろうけども、回数決めなくてもいいから、例えば定例会の前にやって町民の意見を聞いてね、そういうものを我々が調査研究して、それを議会に反映させていくと。終わった後の報告ですよっていう文章に書いたもの、書く人が大変だけど、書いたものが実際に読まれてるかって言ったら、もう数割の人間しか読んでないような議会報であったら、もう本当に情けないかな、自分たちの力が足りないのかなと思ったりもしたこともあるけども、要するにそうやって言葉で膝を交えて、通じ合って意見を交換し合う事によって、町の人方もいろんな問題に対して、何ていうのか、関心持ってくれるんでないかというのが俺の考え方のさ。だから、今ここで俺、最近なってからまた考えていることが、吉原君が言ったように年4回まではやらなくていいんじゃないかっていう話もあるし、4回で足りないんじゃないかっていう話もあるんだけど、要するに、あまり杓子定規にはまらないで、自由な形でもって、町民との懇談を回数広げていったほう

が俺はいいんじゃないかっていう、問寒別の問題と幌延のことがあるから、同じ問題を提起したような形にならないと思うんだ。別々でいいと思う。問寒別ではこういう意見が出たよ。こういう意見に対して、こういう分野が得意の人もいるのかどうかっていう分散して、勉強研究して立ち上げていく、町長のほうにこの発言するとかさ。そうやって町民の意見をどんどんどんどん吸い上げてやることをやれば、俺は町の活性化につながってくるんじゃないかなと思うんだよな。

議会だって決して寝てるわけでもなければ、きちっとした会議も開かれてやってきてるんだから、それはね認めてるんだけども、要するに何ていうかな、聞こえないんだね。議会のやってることが、町民に。わからないんだよ。議会なんか何やってるのさって、こんな感じで、意見が出てくる。俺今までただの人だったから、どうなのっていうから、いや俺は最近関係ないから、そういうことに興味持ってないって言って突っぱねてきたものがあるんだけどね。やっぱり町民が議会って何やってるところなんだろうって。そういう不信感もあるから、なおさらのこと、この活性化につながっていかないんでないかなって気がしてる。

俺はね、何ていうのか、みんなとちょっと変わってるかわからないけども、少しでも回数を多く、お茶の間懇談会みたいなのをどんどんやって、意見吸い上げてやって、自分たちも参加してるんだよっていうふうになるんじゃないかなと。

だから、あくまでも私は、出席簿を作るってのは、一覧に4年分のやつやって、例えば定例会、委員会までは回数多くて載せる必要ないと思うんだわ。要するに、我々のやってる仕事を町民に少しでも多く理解してもらうためには、こうなんだよと、議会議員はこういうことでもって、ここまでこうやって努力して、自分で事件を探し、出張したときにああ良いものを持って来たよって言って、町民にそういうお話をして、これが町長が取り上げるか取り上げないかは二の次でもって、そういう形でもって議会活動ってこうやってやってるんだということ、もうちょっとわかりやすく町民に伝えることができれば、それが議会の活性化につながるんじゃないかなって気がしてるのさ。

必ずしも出席簿作らなきゃ駄目だとかそういうのでなくて、第1段階でもって、そんなもの岡本、当たり前のことだべって、そんなもの載せたからどうだっていう人もいるかもわからないんだけども、やっぱり町民の人が少しでも議会に関心持って、議会の仕事も自分の仕事持ちながら大変だねって言われるような、意見が出てくるのを我々は待ちたいなという感え方。あまり聞いたことないんだよな。そういう話っていうのは、議会なんか何やってるみたいな、そういうふうな話があまりにも多いんでないかっていう気がするからさ。

だから俺よくね、議長、副議長はそれは大変だよって、自分の仕事なんかやってられないぐらい忙しいよと。100%全部会議に出てくっていったらって。俺、そういう説明もするんだけど、全くそのとおりだと。

だから俺は、今回、こういうの課題にしてくれたときに、委員長に対して、こんなこと皆考えてる人いたんだなって思ってね、ありがたいことだなんて思ってる。俺個人の立会演説の中で言ったことが、一つの字句になって出てくる。そしてまた、ほかの稚内市の市議会を交えて、宗谷の関係にしたって、こないだの道のやつだって、町の活性化なんだろうとね、講師の人が言うのは。それは町の活性化っていう俺の考えとしては、町民が参加して町の活性化なんだわ。議会が一生懸命やってるから町活性化するわけじゃないと思うんだよ、俺は。

だから、ちょっと飛躍しちゃうけども、国は消費者問題、少子化問題って言ってるけども、

何の手当もやらないで、ただ言葉だけ流れていってるようなさ、そういうのじゃなくて、町をあげて、町民皆幌延町こぞって消費者問題をどう捉えたらいい、どんな意見あるとかってさ、そういうものを見開いて皆でしゃべったほうが、いろんな話をしやすくなるんじゃないかと思うんだ。

町政懇談会やってるけども、町長部局から何かないですかって聞かれて、はいって手上げてどんどん発言する人なんていうのは、世にも珍しいぐらいなんだよ。だから、無駄だつて言うんだ町政懇談会なんか。町長に物申せる、手を上げて、こうだあだつて物申せるぐらいだったらね、その人町会議員になってる。

だからね、幌延町はね、なにせこれ以上、人減っていくのはしょうがないと思いつつも、これ以上、過疎になるのはストップさせたいという、町民が皆参加してる町だつていうさ、こういうものをPRしていきたいなつていうのが俺の考え方。

植村委員長

わかりました。

まず、1番と2番とごっちゃになって、一緒になって進めてきました。

まず一つ、一つずつ片づけていきたいと思います。

議員の出欠簿に関しての、件ですけどどれも、扱う必要ないという方、全く必要ないという方おられますか。

(一同無言)

形はどうあれ、どういう形か、簡略でもいいからある程度、ホームページに載ってる、載せてある議員活動のほかに議会報として取り上げて、4年に一度、もしくは1年に1度、そういった議員の活動を皆さんに、町民に、議会報に載せるというふうに使われてる方。大体皆さん、載つけてもいいんじゃないかということによろしいでしょうか。

(「はい」の声あり)

斎賀委員

定例会ごとって岡本さん言ってたんだけど。

植村委員長

定例会ごとつていうのは懇談会。

岡本副委員長

こだわらなくてもいいということ。

例えば、今どっかに出張することがあったとするよな。出張いって帰ってきたら、少しでも早い時期にこういうことの報告会をやりたいんで、何月何日、例えば三町内の会館ですよだとか、国際交流センターの和室を借りましたよとつていう、そんなんでもいいと思うんだよ。全員が参加して、仕事のくそ忙しい時に行つてられるかつてなるから、全員参加でなくていい。参加できる時はこぞつてやるべつていうさ。ちょっとした集まりみたいなものからスタートして、あんまり杓子定規で物を考えることないと思うんだ。

植村委員長

まず、議員のほうの活動報告、出席簿に関しては、中身はこれからいろいろ精査しなきゃならないですけども、議会報に記載をしていくと。4年に1度になるか、1年に1度になるかはまたにして、やつていくということで、この件に関しては、そういうような方向で進めていきたいというふうにあります。

それで今非常に力の入った2番目の懇談会のところですけども、懇談会のあり方、今、岡本副委員長のほうからいろいろとご説明ありました。

従来私たちは、年に1度もしくは2度やりたいということで、議会としての懇談会、報告会をやりたいということで進めてきたんですけども、なかなか今までは、どうしても年に1度の報告会なり、懇談会という形にならざるをえなかったというのが実態だと思います。

また、今年度ももう8月になりましたから、あと来年の3月までの間に、どこの時点でやっていくかということになりますけども、こまめに、皆さん出席してやる必要ないんじゃないかという意見もありますし、その辺、懇談会のあり方について、まず皆さんの考え方をお聞きしたいと思います。

吉原委員

今年度行うこの住民懇談会。これはいつものとおり、やっぱり岡本さんね、今回、初めて出ると思うんだけど、どの程度集まるか、どのような意見が出るか、やっぱりここ12年間ちょっとお休みしていたから、その辺はやっぱり今回開くべきだと。ただし、2回も3回もってというのは無理です。やっぱり、今言ったように視察もあるし、原子力機構の話し合いもあるし、結構びっちりあります。これは無理ですよ。

それともう一つ、今、斎賀委員君だとか岡本さんから、2人か3人でやったらはってという話も出てたけども、2人か3人でやるんだったら、これ自分たちの選挙のいわゆる地場の人たちを集めてやるならいいかもしれんけど、2人や3人では説明できないこともあるからね。やっぱりこれは全体で皆さん集まって、そしてみんなの前で、皆さんに来てもらって話すということがメインにしていかなきゃ駄目でないかなと私は思います。

植村委員長

今吉原さん、そういう意見ありました。

ほかの方、何かこれに関して。

(一同無言)

確かに今言われたような形で、少人数でこまめに、各町内でそういったお茶懇みたいな形で、開催されているという事例も聞いております。

ただ、これやはり会場によって、行く議員によって、それぞれ説明が違うなんていうことになる、これちょっと困りますんで、どうしても事務局が入った議員全員での統一見解での懇談という形を取ってきたっていうのが、今までのうちの懇談会のあり方でなかったのかなというふうに思います。

改めてということがあれば、ご意見をお聞きしたいと思いますけれども、いかがでしょうか。

無量谷委員

今までやってきた通りにある程度、全員が参加してる懇談会っていうのが、公的な見解でないかなって感じがするんですよ。

先ほど言われたように、1人2人の議員さんが行って、お茶懇的にやるということになれば、やっぱり私的なものも、考えも出てくるし、ある程度議会の全体の報告会ということにはならないのではないのかなという気がいたします。

ですから、今までどおり回数は少ないけども、一応、全員参加のもとで懇談会の開催を望みます。

植村委員長

わかりました。

これに関しては先ほどから、冒頭からいろいろ意見出てますんで、今年度行う懇談会は、今までどおりやるということで、対象となる団体もしくは法人なんですけども、先ほど西澤委員のほうから、過去行われてきた老人会だとか、農協青年部、商工青年部との懇談会で非常に好評だったということもありますけども、今回どのような形で、どこを対象にやったほうがいいのか、全般的にやったほうがいいのか、皆さんのお考えをちょっと聞きたいと思います。

併せて、開催する時期ですけども、これからの時期になりますと準備をして、報告する事項をまとめてということになってくると、どうしても、10月の道内研修以降ということにならざるをえないのかなと。議会としての懇談会を開催するってことになれば、それぐらいにならざるをえないのかなというふうに思うんですけども、少なくとも、12月前の10月の研修会以降というふうにならざるをえないかなと思うんですけども、そこも含めてご意見を聞きたいと思います。

高橋議長

道内研修の後の懇談会となると、うちの道内研修ってというのは、道の駅っていうか、それを見に行くんで、

それに町で1番関連してくる業種って商工業者だと思うんですよね。

昔、商工業者の役員とはやったはずなんですけど、道の駅行くんだったら、道の駅構想も今、町でもやってるんで、意見交換となれば、やっぱり商工の人方と団体として話し合うのほうがいいのかなと思ってるんで、その辺でどうかなと思うんですけど。

植村委員長

議長のほうから道の駅を視察に行くということで、例として関係団体、商工の役員との懇談会を開催してはという意見が出ました。

そのほか何か。

無量谷委員

いや、今までほかの町村の道の駅を見てきた中では、ある程度商工関係も関連するんですけど、やはり特産品開発っていう形で、自家野菜等が結構好評で、各道の駅では有効な手段だかっていう感じはしています。

ですから、ここ幌延町においてはなかなか特産品の、農業に関するものってというのは、なかなか今、どこも見当たらないという部分もあるんですけども、前回やった商工とね、農協青年部と両方のほうが逆にいいのかなという感じがするんですけども、商工単独の懇談会よりは、両方の方がいいのかなという感じはしています。

植村委員長

両方ということになれば、商工青年部、農協青年部。

無量谷委員

はい。

植村委員長

商工役員じゃなくて。

無量谷委員

役員というのはあんまりあれかな。

植村委員長

合同でやるとなると商工の役員と農協の役員というのが対象になるんだけども。

無量谷委員

青年部のほうが逆にいいのかなって。

植村委員長

わかりました。

ほかに何かご意見ありませんか。

吉原委員

団体って話出たけども、団体っていうのがどれだけ把握してるのか、どれだけあるのか。今までは、老人クラブだとか、商工青年部、あと他に何か団体あるのかっていう話になったら、これまたそれ探さなきゃならん。

今議長のほうから、今年の道内視察、これはメインが道の駅という、これは商工に関係するから、商工とお話し合いをするというのは、大変いいと思います。

ただ、役員となると数が少なくなりますからね、やっぱり商工でやるんだったら、本当に商工青年部あるいは商工会に入ってる人たち皆、来てくれる人は来て、こういう道の駅もありましたよっていう話をしながら、今、幌延は道の駅つくりますからね。だから、どういふふうに持ってくかという話も、そこに含めてお話しするというのは非常に有意義だと思います。

ただ、そのあと、次の年にどうするかと。団体はどうなってるのという話が、まず第1がそこにあると思うんです。ただ、今回は議長の言うのように、道の駅ということは、商工会と話しやすい。そのあと、農業の青年部と話し合っただね、無量谷君の言うように野菜うんぬんっていう話あるけども、幌延は正直言って野菜作ってる専門の農家無いですからね。家庭菜園ぐらいなもんですからね。その中からどう出してくるのということになってくるとまたいろいろ問題がありますから、とりあえず、今年は商工青年部と話し合いをしたいなと、それはいいなと思っております。

高橋議長

すいません、商工会の役員とは言ってませんので。商工会の会員とやりたいっていう話。

植村委員長

すいません。早とちりで勘違いしてました。

岡本副委員長

人数少ないんだからね、全部でやったほうがいいんだよ。役員って言ったって限られた人間しかいないんだからさ。皆で公で自由にフリートークできるようなさ、そういう集まりの会議を開いていくことによって、身近になってくる。

吉原委員

例えばの話。こうやってね、こんなお話ししたときに、個人の話した場合はね、町の店主の中には、俺のスペースつくってくれるんだったら、お酒の産地いかなくても、全部集めてここで売ってやるっていう人までいるんです。

だから、皆さんに話をすると、何かいいアイデアが出てくるんじゃないかという、それぞれの職種によって、いろんなアイデアが出てくる。だから、そういう話し合いは来てくれて

る全員と話すのもいいことだと思っております。

植村委員長

今、商工会を対象にという話が出ました。

老人クラブ等々の団体もありますけども、特に老人クラブに関しては、期待して待ってるということもあるのかなと思うんですけども、今年はそたら、商工会対象にということよろしいでしょうか。どうでしょう。

(「いいです」の声あり)

斎賀委員

意見交換するのはいいんだけど、議会っていうか、俺等として町長から道の駅どうするっていうそのものをまとめてないんですけど。

西澤委員

そもそも町は、道の駅っていうふうには言ってないんで、交流なので。その中で、まち・ひと・しごと創生会議の中で、拠点といえば道の駅も一つの拠点でだよねっていう話の中で、道の駅も一つの拠点という意味で、協議会も今年も道の駅ということなんで、その辺、議会として混乱しないように。あくまでも拠点の中の道の駅ということなので、という話だけです。

植村委員長

ということで、懇談会に関しては道内視察以降、12月までの間に商工会を対象に今年を行うということで予定を組んで、計画立てていきたいと思っておりますけども、それでよろしいでしょうか。

(「はい」の声あり)

ありがとうございます。

それともう一つ、その他があります。いいでしょうか。

全員協議会の議事録に関することでございます。

前回昨年度から、公開の原則ということで、委員会等同様に、全員協議会も議事録を公開してきました。1年間やってみてそれぞれ皆さん、感じたことがあるのかなと思っておりますけども、このまま、議員協議会の議事録を全てネットで公開していくということでいいのか悪いのか、皆さんのご意見をお聞きしたいと思っております。

無量谷委員

1年間、全面公開っていう形でやってきたんですけど、これから問題っていうかいろいろ、全員協議会は、込み入ったことまで結構追求しなきゃいけない部分も出てくると思うんで、非公開もあってもいいんでないのかなって感じはするんですけど。部分的に非公開っていうか、そういう判断をどうする進めていくかなという感じはしてるんですけども。

植村委員長

今、無量谷委員のほうから、全員協議会の全ての議事録の公開に関して、会議によっては非公開、議事録を公開しないという全員協議会も、あってもいいんじゃないかという意見が出ました。

これに関して、皆さんの考え方を聞きたいと思っております。いかがでしょうか。

吉原委員

やっぱり公開しては駄目なことは皆さん、話聞いててわかると思っておりますんで、やっぱり非

公開にしなきゃいけない時は、議事録止めてもらうという程度でいいんじゃないですか。個人名が出てきたり、何かしたときにはやっぱりそれは公開してはまずいことになりますからね。

それとちょっと言葉過ぎちゃって、その時にまた別な余分な言葉出てきたときなんかはやっぱりそれは議事録を止めるか、中でカットするとかなにかする、そういうことは必要だと思いますけれども、基本的には、普通の時は一般的に公開するということでよろしいんですか。

植村委員長

吉原委員のほうから、いやいや全員協議会も基本的には議事録の公開ということいいんじゃないかと。不都合な時には、議事録を止めるという判断で、全員協議会を進めていければ、別段問題でないかという意見が出ました。

皆さん、それらに関しても何かご意見があれば聞きたいと思います。

正式に、冒頭から非公開という全員協議会を設けるのか。今、吉原委員が言ったような、案件によって議事録をとめて審議する全員協議会をつくる、あってもいいと。基本的には議事録は公開するというのでいいのか、その辺をちょっと皆さんのお考えをそれぞれ伺いたいと思いますのでよろしくお願いします。

植村議会事務局長

議事録は委員会の非公開と公開が別々にその時でなるっていうのはありえないと思うんですよね。非公開のやつっていうのは、秘密会か何か。じゃないと、全部非公開にするか、一応公開の原則でやって、吉原委員がおっしゃったように、途中でちょっとこれは個人的な話をしたいから、ちょっと休憩とってくれてって言って、その中でやるかしかないと思うんですよね。

だから、これは、今日のは非公開、先週のは公開するっていうのはちょっとないかなとは思いますが。

岡本副委員長

その場に遭遇したときの判断の仕方だよな。

植村委員長

誰かがすぐ休憩してって言うてくれれば。

吉原委員

いや、やっぱり話に熱入っちゃって、ついつい過激な言葉が出てしまうと。後から過激なこと言ったなと思う時は議事録から削除してもらう。本人が申し出て、それがいいと思うんですよ。

西澤委員

一つ確認なんですけれども、定例本議会、各常任委員会っていうのは、今日新聞社も入ったんですけど、一応傍聴できるってなってるじゃないですか。全員協議会っていうのは、そういう文言って無かったんじゃないかなって思ったんですけど、その辺をちょっと確認していただいて、もし同じように文言があるのであれば、公開の原則なので、別に議事録も公開でいいのかなと思うんですけど、そこが同じような状況でないのであれば、確かに全員協議会は公開する、議事録は作っておかなきゃならないですし、文章の開示請求があれば、もちろん開示はしなきゃならないんですけど、同じようなその公開の原則、一般の傍聴できる

というふうになっていないのであれば、別にホームページに公開する必要はないのかなと思うんでその部分を1回確認していただければなと思います。

植村委員長

確認しますけども、確か、全員協議会に関しても、本議会委員会に準ずると。これを同等に扱うという、条例改正になってたと思います。またちょっと定かでないんで確認しますけども、今言われたことはそういうふうになってると思います。

植村委員長

議長どうですか。

高橋議長

したら、公開していくしかない。何かあった時は止めてもらってやってくしかないんじゃないんですか。

公平性を保つには、こっちを出してこっちは出さないっていうわけにはいかない。委員会を出して、全員協議会が出さないっていうわけにはいかないんで。したらお前たち何喋ってるのよって、逆に町民に疑いを持たれるのも嫌なんで、原則として公開で、何かあった時は吉原さん言ったように、止めて話し合う。それでお願いできればと思います。

植村委員長

わかりました。

昨年1年間やってきて、全員協議会でいろんな議論に出た中で、結構白熱した中で、先ほど吉原委員も言ったように過激な発言等々あって、議事録の作成者はだいぶ苦勞したという経緯も踏まえて、今回このようなその他でちょっと議題を上げてみました。

改めて、全員協議会は基本的に公開していくということで、何か個人もしくはプライバシーに関する事、もしくは、ちょっと都合が悪いなってときには、事前に議事録を止めて進めていくということです。

それから、公開するっていうことですので、委員会、本議会と同様に、発言者は発言に十分注意されながら発言していただきますようお願い申し上げます

吉原委員

事務局をお願いしたいんだけどさ、実は、藤田さんやったときに委員長言ったように、結局載せてはまずいもの、議事録で書きちゃった。吉原さん、大丈夫、これ言っているのってちゃんと議事録持って来てもらって聞いてくれた。ずっと文章読んで、これはやばいね、これ削除してって言ったら、削除しますということで、削除してもらったこともあるんですよ。それもまた、今回、事務局ですわね。

植村委員長

そこら辺の判断、非常に難しいところなんですけども、そういう公開してるんだということを常に念頭に置いて、議員個々の発言をお願いしたいと思います。

以上で私のほうからの協議事項は全て終わりました。

ほか、皆さんのほうから何か。ありましたら。

(「ありません」の声あり)

ないですか。そしたら、第4回の情報推進常任委員会をこれで閉じたいと思います。

どうもありがとうございました。

(14時56分 閉 会)

以上、相違ないことを証するため署名する。

委員長 植村 敦

以上、記録する。

主 事 満保希来